

# 1 高校と大学の違い

## いろいろなことを自由に決められる！

高校と大学のいちばんの違いは、大学では「いろいろなことを自由に決められる」ということでしょう。それは、何ごとにも自発性が求められるということでもあります。



## 時間割は自分で作る！

大学では、受ける授業を自分で選んで、「自分だけの時間割」を作ることができます。学科や専攻が同じでも、人によって時間割が違うのが当たり前です。授業によっては、他学部や他学年の人と一緒にすることもあります。

■時間割の例

	月	火	水	木	金
1限	基礎ゼミ		フランス語I		
2限	英語I	フランス語I		入門	情報
3限	心理学	社会学	スポーツ	英語II	概論
4限		発達心理学	環境学		演習
5限	教職				

- 外国語科目（必修）
- 専門基礎科目（必修）
- 一般教養科目
- 教職科目（学校教諭免許取得のための科目）

高校までと違い、1つの授業は週1回がふつう。



授業内容が書かれたシラバスを見て選ぶ。必修科目から埋めていこう。

▶履修  
授業を受けて単位を取ることに。

## 時間割はどうやって作るの？

授業を受けて試験に合格すれば、「単位」が取得できます。卒業に必要な単位数が決めているので、授業は、4年間でその単位数を満たすように選ばなければいけません。自分で選べるといっても、必ず履修しなければいけない科目（必修科目）もあります。

## 空き時間の過ごし方も自由！

時間割の組み方によっては、空き時間もできます。基本的に自由な時間なので、図書館で読書や予習をしたり、食堂やキャンパスで友だちと過ごしたりすることができます。

## ホームルームがない！

大学には、高校までのようなホームルーム（決まったクラス）がありません。高校では授業ごとに先生が教室に来てくれますが、大学では、学生が自分で決めた時間割に従って教室を移動します。教室で座る席も自由です。



## 「自由」だけど「責任」も生まれる

高校までは、クラスの担任の先生が学校生活に関する面倒をみてくれました。ホームルームのない大学ではそうはいきません。時間割などを自由に決められる反面、受ける授業の登録（履修登録）や必要な授業の確認などを、自分の責任でしなくてはならないのです。



掲示は毎日確認！

## 必要な情報は掲示板で

大学や教員からの連絡事項（休講や教室の変更など）は、大学内の掲示板やインターネットで確認します。掲示の見落としで困ったことになっても学生の責任とされるので、「大学に行ったらまず掲示板を見る」という習慣をつけることが大切です。

▶休講  
授業が休みになること。大学では、先生が休んでも、代わりの先生が来たり、自習になったりはしない。

## 事務手続きは専用の窓口へ

大学には、学務課や学生課といった、事務の窓口があります。履修登録や各種証明書、奨学金の申請をするときは、先生に言うのではなく、これらの窓口に行きます（インターネットで履修登録ができる大学もあります）。大学の手続きで分からないことがあれば、事務の窓口で相談します。



▶各種証明書  
在学証明書や学生証など。証明書自動発行機で発行する大学もある。